

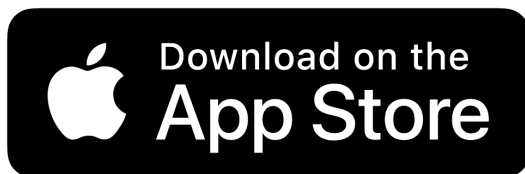
花粉症対策にアプリを活用し自己管理を

今年もまた、スギ花粉症の季節が来ています。

MASK-air は、花粉症の自己管理を目的にしたアプリです。

毎日の花粉症の症状を記録することで、自分でも症状の経過を確認でき、治療効果が適切かどうかを判定することにも役立ちます。

MASK-air アプリ（無料）をダウンロードして使用できます。



花粉症を含めたアレルギー性鼻炎の患者さんに対する治療を向上させる取り組みの一環として、患者さん自身が症状を自己管理できるアプリの日本語版を、千葉大学が中心となって作成しました。アプリ自体はWHO（世界保健機関）も参加した国際的な取り組みで作られています。国内でアプリを作成する過程で、患者さんが使いやすいように日本の事情に合わせて質問を少し変更しています。患者さんが症状を入力することで、治療効果が十分に得られているかどうかを自身で知ることができます。また、データを医師や薬剤師に見せることにより医療側がよりの確に症状を把握し、治療の向上に役立てることもできます。さらに、多くの患者さんからのデータを集めて治療の有効性や特徴を解析することで、従来とは違った患者さんの視点からの治療評価に役立てられる、患者さんのための治療ガイドラインの作成につなげていくことを目的としています。

このアプリを用いた研究は千葉大学の倫理委員会で審査を受け認められています。収集されるデータには個人が特定できる情報は含まれません。すでに海外ではこのアプリから得られたデータに基づいて、アレルギー診療のガイドラインを作っていく取り組みも行われています。より多くの患者さんに参加していただくことが有用なデータの収集につながります。どうぞよろしくお願いいたします。